

学認について

平成27年度 SINET及び学認・UPKI証明書説明会 国立情報学研究所



- 1. 学認へのお誘い
 - ~参加をご検討中の皆様へ~

- 2. Shibboleth IdP ver.2系統のサポート終了について
 - ~IdP管理者は必見!~



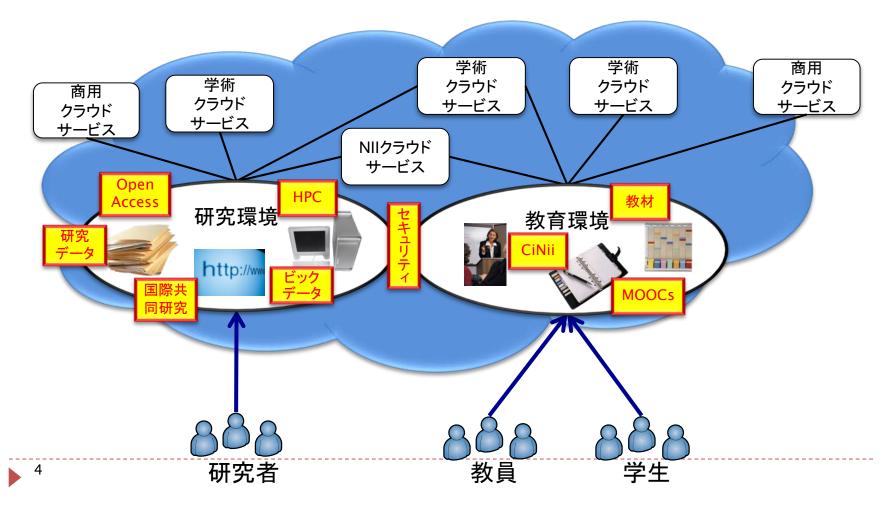
学認へのお誘い

~参加をご検討中の皆様へ~



GakuNin これからの研究教育環境

- 研究・教育に必要なツールやコンテンツがクラウドに
- ▶ 欧米ではクラウドを利活用した最先端研究教育環境の整備が進行中





ID・アクセス管理の観点から・・・

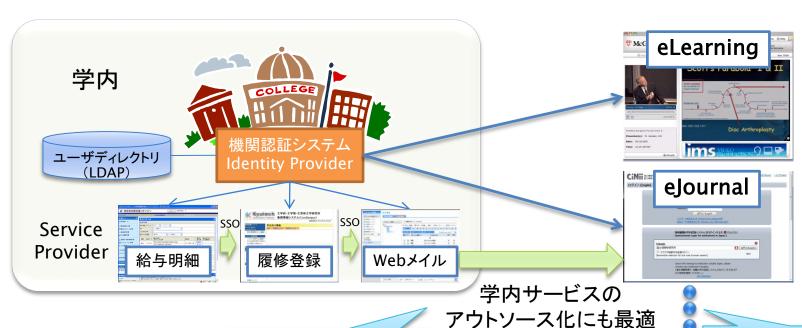
- ▶サービスの提供者は学内・学外に散在
- ▶複数大学によるサービスの共同利用が拡大
- ▶サービスのマッシュアップにより、活用の幅が広がる
 - ▶「どこから提供されるサービスなのか」を意識する必要なく、 複数サービスを横断的に、かつ安全に利用できることが重要 →シングルサインオン(SSO)で解決!



SSO技術の学外への展開:ID連携 学術認証フェデレーション「学認」

学内SSOの仕組みをグローバルに





アカウントの 発行申請が不要 アカウントの 発行管理が不要



学術認証フェデレーション「学認」

- ▶ シングルサインオン技術の活用により、これまで一つの大学・研究機関の中に閉じていた認証システムを組織外の多様なサービスと連携 ⇒ 利便性向上と管理コスト削減
- ▶ 認証ID提供側とサービス提供側との相互の信頼を担保するためのルールと評価の仕組みによる 信頼の枠組みの提供 ⇒ セキュリティとプライバシーの確保

スムーズなアクセス

図書館システム グループウェア Eラーニング 電子ジャーナル ○○○ サービス Webメール 提供 大学間連携 学認運営組織 ディスカバリーサービス 学認申請システム • フェデレーションポリシーの策定 • ID管理運用評価 情報提供サイト メタデータリポジトリ • 広報・普及 学内統合認証との連携 匿名性 仮名性実現 属性情報提供 ID管理 教員 大学 C 大学 A 大学 B ID管理工数の低減 個人認証で学外 シングルサインオンで

セキュリティレベルの底上げ

個人情報保護

クラウドの活用を支援

- 民間フェデレーションと の連携による学割サー ビス等の開発
- より高度で便利な本人 確認手法との連携機構 の開発と提供
- 信頼レベル認定による 格付け
- きめ細かなプライバシー 保護のための制御機構 の開発と提供
- 共同研究や共同利用を 支援するグループアク セス機構の提供

からも快適アクセス

記憶するIDは1つ

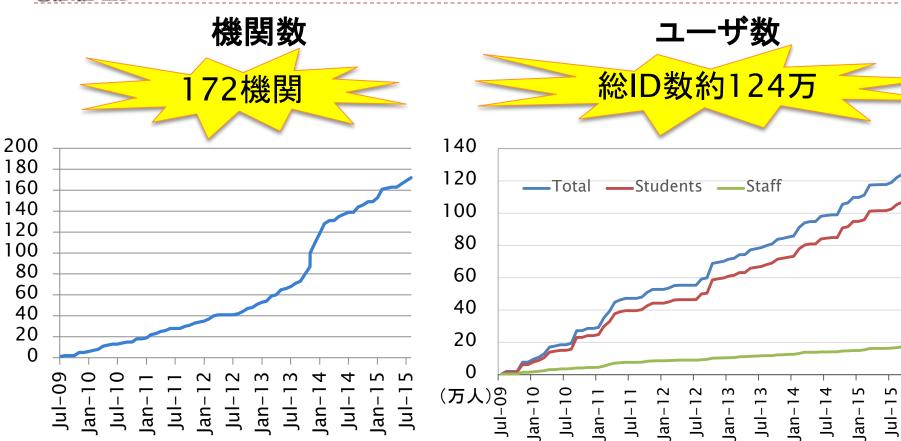
•情報入力は一回

• 学内外·国内外OK

• Webブラウザだけ



学認参加IdPの推移(2015/9末現在)



	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高等専門学校	共同利用機関	その他	合計
学認参加数	59	11	43	0	51	1	7	172
カバー率	69%	12%	7%	0%	89%			
総機関数	86	92	603	334	57			



学認参加SPの推移(2015/9末現在)

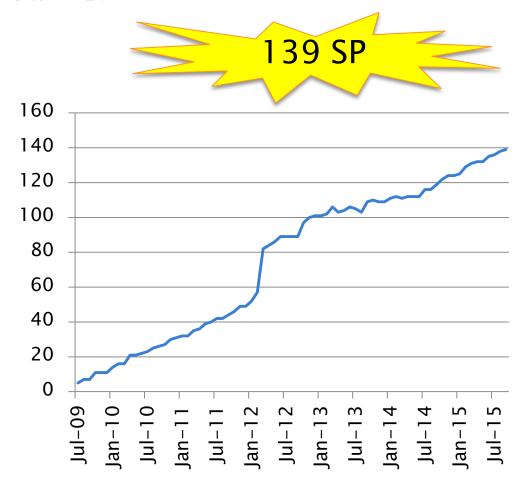
メタデータ登録数(公開準備中を含む)

コンテンツ系サービス

- 電子ジャーナル
- ▶ 機関リポジトリ
- 文献検索
- ▶ 論文·業績情報管理
- 開発環境(ソフトウェア)

基盤系サービス

- 無線ネットワークアクセス
- ▶ Eラーニング
- ▶ テレビ会議
- ファイル共有
- メーリングリスト
- ▶ クラウド環境





Shibboleth IdP ver.2系統のサポート終了について

~IdP管理者は必見!~



Shibboleth IdP ver 3

▶2014年12月22日リリース



- 送信属性選択(uApproveJPに相当)の標準搭載など、 機能が向上
- ▶ 現在の最新バージョンは 3.1.2 (2015.10.15現在)
 - ▶ 2015年10月末, ver.3.2をリリース予定
- ▶ Shibboleth IdP ver.2.x系は 2015年12月31日 から段階的にサポートを終了



Shibboleth IdP ver.2.x EOL

すべてのセキュリティバグ、および、深刻だがセキュリティには関係しないバグ解決のためのパッチ・情報提供 2015年12月31日終了

(JavaやTomcatに起因する、システムの運用に支障をきたす不具合などが相当)

- ト セキュリティバグ解決のためのパッチ・情報提供
 - ▶ (Moderateレベル) 2016年2月29日終了
 - ▶(Importantレベル) 2016年5月31日終了
 - ▶ (Criticalレベル) 2016年7月31日終了
 - ※ 各レベルに相当するセキュリティバグは、例えば、

Moderateレベル・・・認証済みの状態でのDoS攻撃に関する問題 Importantレベル・・・認証なしの状態でのDoS攻撃に関する問題 Criticalレベル・・・リモート攻撃やデータ漏えいに関する問題

▶ 2016年7月31日を以ってサポート完全終了

(2015年5月5日付けのアナウンスによる)

https://shibboleth.net/pipermail/announce/2015-May/000112.html



IdP ver.3系統へのアップグレード

- ▶ 現在 Shibboleth IdP 2.x系統をご利用の機関は, ver.3系統へのアップグレードを行う必要があります。
- ▶ アプライアンス製品を利用して学認に参加している機関も、 製品がShibboleth IdP ver.2.x系統をベースにしている場合、 ご対応いただく必要があると考えられます。
- ▶ Shibboleth IdP のサポート終了だけではなく, OSのサポート 期限にも注意してください。
 - ▶ CentOS 5 2017年3月31日まで
 - CentOS 6 2020年11月30日まで
 - ▶ (参考: CentOS 7 2024年6月30日まで)





IdP をアップグレードする前に

- ▶ まずは「自機関のIdP環境を確認」しましょう。
 - ▶ 実行環境のバージョンは? (Java, Tomcat)
 - ▶ Shibboleth IdP ver.3系の動作環境はJava 7以上, Tomcat 7以上です。
 - バージョンが低い場合は、まずは環境を整備してください。https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/tYwoAQ
 - カスタマイズはしていますか?
 - レログイン画面(ロゴの利用など)
 - ▶ 属性送信(SAML1 フロントチャネル送信, 特殊なNameIDの利用, 平文アサーション)
 - ▶ ローカルSPなど、学認以外のSPメタデータ読み込み
 - →Shibboleth IdP ver.3でのカスタマイズ方法を、近日公開予定です。
 - ▶ IdPのプラグインは利用していますか?
 - プラグインのアプリごとに対処方法が異なります。
 - uApproveJPに相当する機能は、標準で搭載されています(多少の相違点あり)https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/DYAxAQ



Shibboleth IdP ver.3の情報はこちらから

- Shibboleth IdP ver.3の構築には、「新規構築」と「既存のIdP からのアップグレード」の2種類があります。各手順は以下でご案内しています。
 - 新規でShibboleth IdP ver.3を構築する手順 https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/elExAQ
 - 既存のShibboleth IdP ver.2からアップグレードする手順 https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/tYwoAQ
- ▶ 大学ICT推進協議会 年次大会 認証連携部会企画セッション (予定)
 - ▶ 12/2(水)13:00~14:30 ID管理のケーススタディとクラウド時代の認証連携
 - ▶ 12/2(水)14:45~16:15 UPKIクライアント証明書の活用事例とShibboleth V3への対応
- ▶ そのほか、最新の情報は学認情報交換メーリングリストで随時ご案内いたします。
 - 学認情報交換メーリングリストへの参加方法は、こちらをご覧ください。

https://www.gakunin.jp/ml/



学認に関するお問合せは・・・

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術基盤課 総括・連携基盤チーム(認証担当)

mail: gakunin-office@nii.ac.jp

まで、お気軽にどうぞ。

